

# 草の根 地域コーディネーター =人とつながり人をつなぐ。



社長プロフィール

**新井 建喜** (あらい・たけき 通称：マービン)

中野区鷺宮在住。武蔵野建設産業株式会社の代表取締役。

工学院大学建築学科卒業後、広告代理店社員として商業施設の開発に携わる。その後、父親の体調不良を受けて20代後半で家業を継ぐ。創業約60年。社員8名。小学校の耐震補強工事など、主に公共工事の案件を手がける。趣味は洋楽とバイク。

## ●● 鷺宮地域活性化の仕掛け人！ ●●

建築会社の社長として働くマービンさん。実は商店街青年部メンバーや自治会役員という一面を持つ。今回、取材班は「地域のキーパーソン」としてのマービンさんに"みっちゃく"した。

みっちゃく1日目。この日は、鷺宮駅北口エリアの商店街組合（商名会）が年に3回発行するフリーペーパー『さぎプレ』の発行日だった。『さぎプレ』は周辺の店舗情報などを載せる広告メディアだ。広告取りから配布まで青年部が担う。

発端は青年部の代替わり。「新しいことがやりたい！」と議論する中で生まれた。編集では美大出身のメンバーが手腕を振るい、マービンさんは親会との折衝や、メンバーのモチベーションを高める役割を担う。それぞれに得意なことを生かす様子は、さながら映画『オーシャンズ11』のようだ。

青年部は小学校での出前授業や区内各所でのイベントも展開する。『さぎプレ』の4コマ漫画から生まれたゆるキャラ「さぎプー」は各地で引

張りだこだ。「物事を前に進めるには"皆でやったことだよ"というスタンスが大切。青年部の仲間は自然とそれができる」。前向きなマービンさんの周りに前向きな仲間が集まる。



## ●● 神輿場の魅力を伝える！世話役としての顔！ ●●



上：鷺宮三丁目の神輿の前に街の仲間たち  
左：出発式。厳かな雰囲気中：「まわれー！」全身で指示を出す  
右：往來の激しい道で安全を確保する責任も

真夏の風物詩。鷺宮には町内会ごとに神輿があり、鎌倉時代から続く八幡神社の神様を載せて、年に一回、町内を練り歩く。みっちゃく2回目は担ぎ手としての体験取材になった。若い衆がみこしを担ぎ、マービンさんたち役員は運営の側で汗をかく。喧嘩っ早い男たちが集まる神輿場。トラブルが起こらないよう目を配らせる。無事にやり遂げるとホッと一息つくそうだ。

神輿場は人間が育つ場所だという。

「神輿場で育った子どもは下の子どもへの面倒見がいい。大人に面倒見ってもらったから、下の子にもそれができるようになっている」

そう語るマービンさん自身、子ども時代に神輿を体験した。地域にある人間関係を回路にして、血の通った想いが循環していく。それこそが、地域の持つ本質的な価値なのかもしれない。

## ●● 一人旅でリフレッシュ ●●

「すべてから解き放たれたい」

時折、愛車にまたがり旅に出る。日常のしがらみを脱して、日常とは違うことを考える。旅先で話したり聞いたりして帰ってくるとリフレッシュできているそうだ。人に囲まれている人ほど、自分の時間とのバランスが必要なのかも知れない。

そして、今日も地域で生きる。



<取材：大竹悠介（早稲田大学）、長野純怜（明治大学）／撮影：五木田勉>

# ウクレレ・フランクフルト・ときどきIT

～人生トライアスロン～



社長プロフィール

秋田隆輝 (あきた・たかき 通称:ウクレレ)

豊作プロジェクト株式会社 代表取締役。

1966年1月生まれ。高校卒業と共に音楽活動開始。1986年キングレコードよりデビュー。その後ビジネスに目覚め、ECサイト構築ソフト「豊作くん」を開発。1200以上の団体のECサイト構築を手がける。

## ●● ママからインドまで! ●●

IT会社の社長として働くウクレレさん。今年15期目を迎える「豊作プロジェクト」の代表取締役です。

"みつちやく"初日。中野駅の南側に位置するオフィスにお邪魔しました。今まで1200団体以上のECサイト構築のお手伝いをしてきた「豊作プロジェクト」。IT会社と聞いていたので、男性が多めだと思っていましたが、社員は意外にも女性が多く活躍していました。

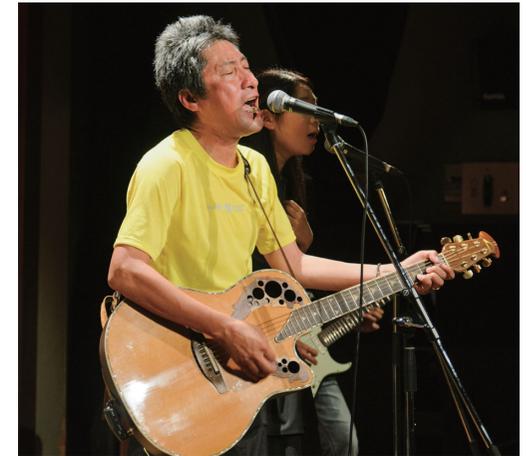


中には、子育てをしながらママとして働いている人がいたり、インド人が働いていたり、様々な背景を持つ人が一緒に働く職場です。そんな職場だからこそ、ウクレレさんの社員を想う態度が伝わってきます。インド人の男性に対しては、彼が日本で暮らしていくこれからの人生を思いやったり、子育てをしながら働くママさんに対しては、家庭も仕事も大切に働きやすいよう気遣う姿を見ることができました。

## ●● バンドで爆発! ●●

ウクレレさんはIT会社の社長とは別に、バンドマンとしての顔も持っています。

20代前半に、キングレコードからデビューしたこともあるウクレレさん。その腕前は相当なもので、現在も地域の"中野会"の仲間達とバンドを組み、年に数回ライブを行っています。メンバーは基本的に中野区の経営者や中野区在住の人々。シンガーソングライターの大塚愛のバックでベースを弾いていた人がメンバーに加わっていたりと、実力派揃いです。ウクレレさんはボーカル&ギター。今回の"みつちやく"では、バンドのライブにお邪魔してウクレレさんの生演奏を聴くことができました。



歌う曲は、ロックが多め。自作の曲も半分ほどあり、ストレートに気持ちが伝わってきます。ライブの最後に、結婚したメンバーのために長渕剛の"乾杯"を感情込めて歌う姿に胸が打たれました。

音楽を通して、気持ちを伝える。ウクレレ

さんの姿を見て、自然と勇気づけられた時間でした。そしてまた、地域の方々と一緒に音楽を楽しむことで、仕事とは別の面でもより人生を楽しく味わっている印象を受けました。

## ●● フランクフルトでフルマラソン ～家族と一緒に～ ●●



「娘2人の父親でもあるウクレレさんは、奥様も含めて家族4人で年に1回はフルマラソンに出場しているとのこと。フランクフルトの着ぐるみを着てマラソンを走るという、お茶目な一面も。那覇マラソンやバンクーバーマラソン等、様々な地域でマラソン大会に参加しているそうです。

取材班も、ウクレレさんと一緒に中野セントラルパークをランニングしました。そして、一緒にランニングをした留学生Leeは、この取材がきっかけで影響を受け、東京マラソンに出場することを決めました。

社員・地域・家族を大切に過ごしているウクレレさんの姿を拝見でき、充実した取材となりました。



<取材: 深澤まどか (早稲田大学)、Lee soo mi (明治大学) / 撮影: 五木田勉>